

## 2021 年度社会情報教育研究センター研究活動等報告

### ■ 社会情報教育研究センター長

水上 徹男 教授

#### 1. 学会発表

日時：2021 年 2 月 25 日

学会名等：International Sociological Association IV Forum of Sociology, Challenges of the 21st Century: Democracy, Environment, Inequalities, Intersectionality

場所：Porto Alegre, Brazil, Online

セッション・オルガナイザー：Andrey Rezaev, Tetsuo Mizukami

発表テーマ：“Comparative Research in Transnational Migration”

日時：2021 年 6 月 25 日

学会名等：Conference, East Asian Sociological Association, The New Normal in Post Pandemic

場所：Samick Hall (# 220), Seoul National University Asia Center, Korea & online meeting

発表者：Tetsuo Mizukami

発表テーマ：“Chinese in Japanese ‘Lockdown’?: The Impact of the COVID-19 State of Emergency upon Migrant Community in Tokyo”

日時：2021 年 10 月 29 日

学会名等：The 2nd Congress of East Asian Sociological Association, Social Transformation in Asia: Before and After Covid-19

場所：Pukyong National University, Busan, Korea & online meeting

チェア：Tetsuo Mizukami

発表テーマ：Sociology of Culture (2)

#### 2. 研究論文・著書

書籍名：『グローバル化時代の海外日本人社会』吉原・橋本・今野（編）

タイトル：「オーストラリアの日本人コミュニティの特徴と変貌」

発行機関：御茶の水書房

発行年月：2021 年 2 月

著者氏名：水上 徹男

掲載種別：論文

共著区分：単著

書籍名：Urban Development and Social Change in Megacities in East Asia: Seoul, Tokyo and Shanghai in the Past and Present. D. Chang, D. Nomiya, and H. Zhang (eds.)

タイトル：“The Transformation of Social Ties and Communities in Three Cities”

発行機関：Tokyo: Chuo University Press

発行年月：2021年4月

著者氏名：B. Cheong, Y. Hao, Tetsuo Mizukami

掲載種別：Article

共著区分：Co-author

### 3. 依頼講演

日時：2021年11月21日 午後3時00分～4時30分

講演名：高島平多文化講座 みんなで多文化・多世代型地域づくり

主催：特定非営利活動法人 ASIAN COMMUNITY TAKASHIMADAIRA (NPO 法人高島平 ACT)

場所：高島平団地 3-10-1 号棟集会所

講師：水上 徹男

講演テーマ：「東京の中の外国人コミュニティ」

対象：高島平コミュニティ

## ■ 政府統計部会 部会別研究活動等

### 1. 研究論文・著書

掲載誌名：『社会と統計』第8号

タイトル：「経済統計学会全国研究大会オンライン出張報告」(pp.17-25)

発行機関：立教大学社会情報教育研究センター

発行年月：2022年2月

著者氏名：櫻本 健、濱本 真一

掲載種別：論文

共著区分：共著

**櫻本 健 准教授**

1. 学会発表

日時：2021年5月8日

学会名等：経済統計学会東北・関東支部5月例会オンライン

発表者：櫻本 健

発表テーマ：「2025年成立のSNAに向けたデジタル統計の到達点」

日時：2021年5月8日

学会名等：Working Party on National Accounts, 5th meeting of the Informal Advisory Group on measuring GDP in the Digital Economy, 9-10 June 2021 13h30

Paris, France

場所：オンライン

発表者：Takeshi Sakuramoto

発表テーマ：The OECD Digital SUTs for 2015 and 2018 in Japan

※内閣府経済社会総合研究所研究協力者として、内閣府の代理で参加報告

日時：2021年6月28日

学会名等：立教大学社会情報教育研究センター統計研究会、経済統計研究会

発表者：櫻本 健

発表テーマ：「2025年成立のSNAにおけるデジタルライゼーションの計測」

日時：2021年7月14日

学会名等：立教大学経済学部理論計量ワークショップ2021年度第1回

発表者：櫻本 健

発表テーマ：「2025年成立のSNAにおけるデジタルライゼーションの計測」

日時：2021年9月30日

学会名等：総務省統計委員会担当室主催（委託エム・アール・アイ・アソシエイツ株式会社）「公的統計に関する国際比較可能性に関する調査研究(経済統計編)」第1回研究会

発表者：櫻本 健

発表テーマ：「2025年成立のSNAにおけるデジタルライゼーションの計測」

日時：2021年10月16日

学会名等：経済統計学会全国研究大会オンラインセッション国民経済計算・国際収支の諸

問題

発表者：櫻本 健

発表テーマ：「2025年成立のSNAにおけるデジタルライゼーションの計測」

日時：2021年10月30日

学会名等：環太平洋産業連関分析学会第32回（2021年度）全国大会プログラムA会場  
情報化

場所：中野サンプラザ

発表者：櫻本 健

発表テーマ：「2025年成立のSNAにおけるデジタルライゼーションの計測」

日時：2021年12月10日

学会名等：総務省統計委員会担当室主催（委託エム・アール・アイ・アソシエイツ株式会社）「公的統計に関する国際比較可能性に関する調査研究（経済統計編）」第1回研究会

発表者：櫻本 健

発表テーマ：「デジタルSUT：アメリカBEAとオーストラリアABSの手法」

2. 研究論文・著書

掲載誌名：『統計』2021年7月号

タイトル：「2025年成立のSNAにおけるデジタルライゼーションの計測」（pp.32-38）

発行機関：日本統計協会

発行年月：2021年7月

著者氏名：櫻本 健

掲載種別：論文

共著区分：単著

3. 依頼研修

日時：2021年5月24日、26日、28日

研修名：令和3年度経済社会関連統計研修「GDPを学ぶ」

主催：内閣府経済社会総合研究所経済研修所

場所：オンライン

講師：櫻本 健

対象：内閣府職員、各省庁職員

日時：2021 年 6 月 2 日、4 日、7 日

研修名：令和 3 年度経済社会関連統計研修「国民経済計算（SNA）ステップアップ」

主催：内閣府経済社会総合研究所経済研修所

場所：オンライン

講師：櫻本 健

対象：内閣府職員、各省庁職員

日時：2021 年 5 月 31 日、6 月 1 日、6 月 3 日

研修名：2021 年度統計専門課程「国民経済計算・県民経済計算」

主催：総務省統計研究研修所

場所：オンライン

講師：櫻本 健

対象：国家公務員、地方公務員、政府関係機関の職員

日時：2021 年 10 月 4 日、10 月 21 日、11 月 11 日、12 月 9 日

研修名：日本交通公社統計講座（全 6 回講座で 4 回櫻本が引き受け）

主催：公益財団法人日本交通公社

場所：オンライン

講師：櫻本 健

対象：日本交通公社の職員

※同財団法人より CSI に依頼があり、結果的に個別の分野の研究者で調整して実施した。

## 安藤 道人 准教授

1. 研究論文・著書

掲載誌名：IZA Journal of Labor Policy, 11:4, 1-50

タイトル：Does Universal Long-term Care Insurance Boost Female Labor Force Participation? Macro-level Evidence

発行機関：Sciendo

発行年月：2021 年 6 月

著者氏名：安藤 道人、古市 将人、金子 能宏

掲載種別：論文

共著区分：共著

著書名：『日本の居住保障 定量分析と国際比較から考える』, 第 3 章, 61-85

タイトル：「生活保護による精神科長期入院：1956年『在院精神障害者実態調査』原票の分析」

発行機関：慶應義塾大学出版会

発行年月：2021年4月

著者氏名：安藤 道人、浦川 邦夫

掲載種別：論文

共著区分：共著

掲載誌名：『社会科学研究』72-1: 129-158

タイトル：「新型コロナ危機への財政的対応：2020年前半期の記録」

発行期間：東京大学社会科学研究所

発行年月：2021年5月

著者氏名：安藤 道人、古川 知志雄、中田 大悟、角谷 和彦

掲載種別：論文

共著区分：共著

掲載誌名：『立教経済学研究』Vol.75, No.1, pp.113-151

タイトル：「保育園・家事育児分担・ワークライフバランスをめぐる母親の苦悩：保育所入所申請世帯調査の自由記述から」

発行期間：立教大学経済学研究会

発行年月：2021年5月

著者氏名：安藤 道人、前田 正子

掲載種別：論文

共著区分：共著

掲載誌名：『立教経済学研究』Vol.73, No.3, pp.110-115

タイトル：「居住環境・近隣環境が低所得層に与える影響——"Moving to Opportunity"実験からの示唆——」

発行期間：立教大学経済学研究会

発行年月：2021年3月

著者氏名：安藤 道人

掲載種別：論文

共著区分：単著

## 濱本 真一 助教

### 1. 研究論文・著書

掲載誌名：『社会学年報』

タイトル：「教育達成の分布格差と配分格差——逐次ロジット要因分解による教育格差変動分析」

発行機関：東北社会学会

発行年月：2021 年 9 月

著者氏名：濱本 真一

掲載種別：論文（学術誌）

共著区分：単著

掲載誌名：『応用社会学研究』

タイトル：「国私立中学校進学における不平等生成過程——階層効果の分解による受験格差と進学格差の分析」

発行機関：立教大学社会学部

発行年月：2022 年 3 月（予定）

著者氏名：濱本 真一

掲載種別：論文（学部紀要）

共著区分：単著

著書名：『少子高齢社会の階層構造 1 人生初期の階層構造』

タイトル：「教育達成格差構造のなかの中学校——国私立中心学校進学とその地域差に着目して」

発行機関：東京大学出版会

発行年月：2021 年 7 月

著者氏名：濱本 真一

掲載種別：著書（専門書）

共著区分：共同執筆

### 2. 依頼講演

日時：2021 年 12 月 20 日 午前 11 時 00 分～12 時 00 分

講演名：日本教職員組合少人数学級に向けた調査報告会

主催：日本教職員組合

場所：日本教職員組合本部

講師：濱本 真一

講演テーマ：「少人数学級の実現に向けた日本の学校教育の課題—マイクロ・マクロデータを用いた国際比較と実証的検証—」

対象：日本教職員組合員

## ■ 社会調査部会 部会別研究活動等

### 1. 研究論文・著書

掲載誌名：『社会と調査』第27巻

タイトル：「データアーカイブにおける DDI の意義と課題——RUDA の実践を事例として」(pp.39–pp.45)

発行機関：一般社団法人 社会調査協会

発行年月：2021年9月

著者氏名(共著者含)：高橋 かおり、五十嵐 彰

掲載種別：論文(招待)

共著区分：共著

### 2. 国際会議出席

日時：2021年5月17日～20日

会議名等：IASSIST 2021 GLOBAL VIRTUAL CONFERENCE (GVC)

場所：オンライン参加

出席者：五十嵐 彰、高橋 かおり

参加目的：国際会議出席ならびに海外の調査技術や統計手法、アーカイブのデータ活用に関する動向調査

## 岩間 暁子 教授

### 1. 研究論文・著書

掲載誌名：『作業療法ジャーナル』55巻7号

タイトル：「新型コロナウイルスと『家族』—『近代家族』への回帰と『家族』の肥大化」

発行機関：三輪書店

発行年月：2021年6月

著者氏名：岩間 暁子

掲載種別：論文

共著区分：単著

著書名：『問いからはじめる家族社会学—多様化する家族の包摂に向けて（改訂版）』

発行機関：有斐閣

発行年月：2022 年 3 月（予定）

著者氏名：岩間 暁子、大和 礼子、田間 泰子

掲載種別：著書（書籍）

共著区分：共著

## 2. 依頼講演

日時：2021 年 5 月 22 日

講演名：日本学術会議第 25 期第 3 回多文化共生分科会

主催：日本学術会議地域研究委員会多文化共生分科会

場所：オンライン開催

講師：岩間 暁子

講演テーマ：「『マイノリティ』の権利と日本の課題—『国際的基準』を参照軸として考える」

対象：日本学術会議地域研究委員会多文化共生分科会委員

## 高木 恒一 教授

### 1. 学会発表

日時：2021 年 9 月 11 日

学会名等：日本都市社会学会第 39 回大会

場所：龍谷大学（オンライン開催）

発表者：高木 恒一

発表テーマ：「新型コロナウイルス禍による生活変容——ミニコミを手がかりに」

## 中澤 渉 教授

### 1. 研究論文・著書

著書名：『人生初期の階層構造』

発行機関：東京大学出版会

発行年月：2021 年 7 月

著者氏名：中村 高康、三輪 哲、石田 浩、中澤 渉、苔米地 なつ帆、濱本 真一、上山 浩次郎、小川 和孝、森 いづみ、菅澤 貴之、多喜 弘文、阪口 祐介、林 雄亮、余田 翔平、香川 めい

共著区分：共著（1 章分担当）

著書名：『学校の役割ってなんだろう』

発行機関：筑摩書房

発行年月：2021年9月

著者氏名：中澤 渉

共著区分：単著

掲載誌名：『教育学年報』12

タイトル：「私事化のもとでの公教育費負担のゆくえ」

発行機関：世織書房

発行年月：2021年8月

著者氏名：中澤 渉

掲載種別：論文

共著区分：単著

掲載誌名：『理論と方法』36(2)

タイトル：「COVID-19が及ぼす若年層への影響：パネル調査のデータ分析」

発行機関：数理社会学会

発行年月：2022年（年度内刊行予定）

著者氏名：中澤 渉、藤原 翔

掲載種別：論文

共著区分：共著

掲載誌名：『社会学評論』288

タイトル：「社会調査における自己評価成績」

発行機関：日本社会学会

発行年月：2022年3月（掲載決定）

著者氏名：中澤 渉

掲載種別：論文

共著区分：単著

## 2. 外部資金採択実績

採択補助金名：科学研究費

研究種目：基盤研究A

研究課題番号：19H00608

採択テーマ：「学校卒業後の若年層の就業・家族形成に関する追跡調査」

研究期間：2019 年 4 月～2024 年 3 月

資金名称：日本学術振興会

研究代表者名：中澤 渉

### 高橋 かおり 助教

#### 1. 学会発表

日時：2021 年 6 月 12 日

学会名等：日本ポピュラー音楽学会 2021 年度第 3 回オンライン例会

場所：オンライン開催

発表者：高橋 かおり

発表テーマ：「コロナ禍における演劇業界の現状——コロナだけが問題なのか？」

日時：2021 年 9 月 1 日

学会名等：15th Conference of the European Sociological Association

場所：オンライン開催

発表者：Kaori Takahashi

発表テーマ：” Doing Something Explains Artistic Identity: How Japanese Artists Explain Their Status”

#### 2. 研究論文・著書

掲載誌名：『音楽文化の創造』第 19 号（電子版）

タイトル：「音楽と関わって生きる——音楽家への聞き取り調査からの示唆」

発行機関：公益財団法人 音楽文化創造

発行年月：2022 年 1 月

著者氏名：高橋 かおり

掲載種別：コラム（オンライン機関紙）

共著区分：単著

掲載誌名：『人間関係学研究』第 23 号

タイトル：「芸術家像の複層性と再帰的自己呈示——芸術社会学の展開と課題」（pp.137-153）

発行機関：大妻女子大学 人間関係学部

発行年月：2022 年 2 月

著者氏名：高橋 かおり  
掲載種別：論文（機関紀要）  
共著区分：単著

著書名：『よくわかる観光コミュニケーション論』

タイトル：「演劇」（pp.192-193）

発行機関：ミネルヴァ書房

発行年月：2022年3月（予定）

著者氏名（共著者含）：遠藤 英樹、須藤 廣、高岡 文章、松本 健太郎（以上編者）、東 賢太郎、阿部 潔、新井 克弥、石野 隆美、大貫 挙学、小関 孝子、神田 孝治、金 暲和、日下 九八、高馬京子、近藤 和都、澁谷 和樹、鈴木 謙介、鈴木 涼太郎、須永 和博、関 駿平、高橋 かおり、谷島 貫太、寺岡 伸悟、永井 純一、中村 香子、鍋倉 咲希、濱野 健、埴 幸枝、藤岡 伸明、堀野 正人、前田 一馬、松岡 慧祐、宮入 恭平、宮本 結佳、毛利 嘉孝、安田 慎、山本 泰三

掲載種別：著書（書籍）

共著区分：共著

### 3. 外部資金採択実績

採択補助金名：科学研究費

研究種目：若手研究

研究課題番号：20K12897

採択テーマ：「芸術に関わる人々にとっての労働・余暇・仕事——ジェンダーと移動からの社会学的探求」

研究期間：2020年4月～2023年3月

資金名称：日本学術振興会

研究代表者名：高橋 かおり

採択補助金名：科学研究費

研究種目：挑戦的研究（萌芽）

研究課題番号：19K21731

採択テーマ：「グローバル化時代における進学・就職・転職ネットワークの社会学的解明」

研究期間：2019年6月～2022年3月

資金名称：日本学術振興会

研究代表者名：相澤 真一（上智大学）

#### 4. 依頼講演

日時：2021 年 6 月 22 日 20 時-21 時 30 分（日本時間）

講演名：Asian Cultural Policy Research Seminar Series

主催：Department of Culture, Media & Creative Industries, King's College London

場所：オンライン開催

講師：Kaori Takahashi

講演テーマ：“The plural definitions of ‘artists’ in Japanese cultural policy by applying a sociological approach.”

対象：研究者・院生

### ■ 統計教育部会 部会別研究活動等

#### 山口 和範 教授

##### 1. 学会発表

日時：2021 年 9 月 1 日

学会名等：日本行動計量学会第 49 回大会

場所：オンライン

発表者：山口 和範

発表テーマ：「立教大学におけるデータサイエンス教育」

##### 2. 研究論文・著書

掲載誌名：『大学教育と情報』2021 年度 No.1

タイトル：「コロナ禍から学ぶキャンパスの役割とその未来」

発行機関：私立大学情報教育協会

発行年月：2021 年 7 月

著者氏名：山口 和範

掲載種別：論文

共著区分：単著

##### 3. 依頼研修

日時：2021 年 12 月 15 日 午後 13 時 30 分～17 時 00 分

研修名：佐賀県地方統計職員業務研修（専門研修）

主催：佐賀県政策部統計分析課

場所：佐賀県市町会館 大会議室（佐賀市堀川町 1-1）

講師：山口 和範

研修テーマ：「公的統計データの活用とその先へ：公的統計等の利活用と政策立案」

対象：佐賀県市町職員

#### 4. 依頼講演

日時：2021年12月11日 午後4時30分～午後6時00分

講演名：社会情報学会（SSI）研究活動委員会定例研究会「数理・データサイエンス・AI教育プログラム\*」（MDASH）認定制度ワークショップ

主催：社会情報学会

場所：オンライン

講師：山口 和範

講演テーマ：「建学の精神に基づいたデータサイエンス教育—立教大学の事例より—」

対象：社会情報学会員

### 浅野 倫子 准教授

#### 1. 学会発表

日時：2021年9月1-8日

学会名等：日本心理学会第85回大会

場所：オンライン（明星大学）

発表者：浅野 倫子

発表テーマ：「色字共感覚：学習と転移（公募シンポジウム SS-041 共感覚研究の新展開）」

日時：2021年9月1-8日

学会名等：日本心理学会第85回大会

場所：オンライン（明星大学）

発表者：浅野 倫子、横澤 一彦、一ノ瀬 大輔、田島 夏与

発表テーマ：「景観の360° 画像提示が景観に対する印象と経済的価値評価に及ぼす影響」

日時：2021年9月25-26日

学会名等：環境経済・政策学会2021年大会

場所：オンライン

発表者：一ノ瀬 大輔、田島 夏与、浅野 倫子、横澤 一彦

発表テーマ：「主体的な情報取得が環境評価に与える影響の検討」

日時：2021 年 12 月 3-5 日

学会名等：日本基礎心理学会第 40 回大会

場所：オンライン（大阪大学）

発表者：櫻井 晴子、奥村 安寿子、北村 柚葵、北 洋輔、浅野 倫子

発表テーマ：「幼児における Ordinal Linguistic Personification (OLP) 傾向の調査」

## 2. 研究論文・著書

掲載誌名：『Consciousness and Cognition』95 巻 103192, pp, 1-15

タイトル：「Do the colors of your letters depend on your language? Language-dependent and universal influences on grapheme-color synesthesia in seven languages」

発行機関：Elsevier

発行年月：2021 年 10 月

著者氏名：Nicholas Root, Michiko Asano, Helena Melero, Chai-Youn Kim, Anton V. Sidoroff-Dorso, Argiro Vatakis, Kazuhiko Yokosawa, Vilayanur Ramachandran, Romke Rouw

掲載種別：論文（査読付き論文誌）

共著区分：共著

## 3. 依頼講演

日時：2021 年 12 月 28 日

学会名等：日本語用論学会 メタファー研究会

場所：オンライン

発表者：浅野 倫子

発表テーマ：「共感覚の文字と色はどう結びつくか」

## 4. 外部資金採択実績

採択補助金名：科学研究費

研究種目：基盤研究（B）

研究課題番号：19H01770

採択テーマ：「共感覚に関する認知心理学的研究の深化と展開」

研究期間：2019 年 4 月～2022 年 3 月

資金名称：日本学術振興会

研究代表者名：横澤 一彦（東京大学）

採択補助金名：科学研究費

研究種目：基盤研究（B）

研究課題番号：19H01490

採択テーマ：「経済学と実験心理学の協働による景観の経済的価値に関する研究」

研究期間：2019年4月～2022年3月

資金名称：日本学術振興会

研究代表者名：田島 夏与（立教大学）

採択補助金名：科学研究費

研究種目：基盤研究（B）

研究課題番号：21H00960

採択テーマ：「共感覚比喩と共感覚現象に共通する認知メカニズム：大規模 web 実験による検討」

研究期間：2021年4月～2025年3月

資金名称：日本学術振興会

研究代表者名：楠見 孝（京都大学）

## 田中 聡 助教

### 1. 研究論文・著書

掲載誌名：『日本教育工学会論文誌』45巻2号

タイトル：「プロアクティブ行動がリフレクションを媒介して職場における能力向上に及ぼす影響－20代の若年労働者に着目して－」

発行機関：日本教育工学会論文誌

発行年月：2021年9月

著者氏名：田中 聡、池田 めぐみ、池尻 良平、鈴木 智之、城戸 楓、土屋 裕介、今井 良、山内 祐平

掲載種別：論文（原著）

共著区分：共著

著書名：『経営人材育成論』

発行機関：東京大学出版会

発行年月：2021年7月

著者氏名：田中 聡

掲載種別：著書

共著区分：単著

掲載誌名：『日本教育工学会論文誌』45巻2号

タイトル：「経験学習の測定時における因子構造の考察－若年労働者を対象にした調査をもとに－」

発行機関：日本教育工学会論文誌

発行年月：2021年9月

著者氏名：池尻 良平、池田 めぐみ、田中 聡、鈴木 智之、城戸 楓、土屋 裕介、  
今井 良、山内 祐平

掲載種別：論文（寄書）

共著区分：共著

著書名：『活躍する若手社員をどう育てるか 研究データからみる職場学習の未来』

発行機関：慶應義塾出版会

発行年月：2022年1月（予定）

著者氏名：山内 祐平（編著）、田中 聡、池尻 良平、鈴木 智之、城戸 楓、池田  
めぐみ、土屋 裕介

掲載種別：著書

共著区分：共著

掲載誌名：『日本教育工学会論文誌』（印刷中）

タイトル：「思考のモデリングが経験学習と職場における能力向上に与える影響－若年労働者を対象にした調査をもとに－」

発行機関：日本教育工学会論文誌

発行年月：2022年（予定）

著者氏名：池尻 良平、池田 めぐみ、田中 聡、鈴木 智之、城戸 楓、土屋 裕介、  
今井 良、山内 祐平

掲載種別：論文（原著）

共著区分：共著

## 山口 誠一 助教

### 1. 学会発表

日時：2021年7月17日

学会名等：14th International Congress on Mathematical Education (ICME-14)

場所：East China Normal University, Shanghai, China (ハイブリッド開催)

発表者：Satoru Takagi, Kesayoshi Hadano, Sei-ichi Yamaguchi

発表テーマ：「Teaching Materials on Calculus as Seen from the Application to Engineering」

日時：2021年9月8日

学会名等：2021年度統計関連学会連合大会

場所：オンライン開催

発表者：山口 誠一

発表テーマ：「オンデマンド型授業による「リテラシーレベルのデータサイエンス教育」の試み」

日時：2021年9月15日

学会名等：2021年度数学教育学会秋季例会 (ICME14 特別企画セッション)

場所：オンライン開催

発表者：Satoru Takagi, Kesayoshi Hadano, Sei-ichi Yamaguchi

発表テーマ：「TEACHING MATERIALS ON CALCULUS AS SEEN FROM THE APPLICATION TO ENGINEERING」

## 門田 実 助教

### 1. セミナー開催

日時：2021年12月1日

講演名：機械学習セミナー（入門編）

主催：立教大学社会情報教育センター

場所：オンライン開催

講師：門田 実

日時：2021年12月8日

講演名：機械学習入門セミナー（決定木編）

主催：立教大学社会情報教育センター

場所：オンライン開催

講師：門田 実

### 加藤 倫子 特定課題研究員

#### 1. 学会発表

日時：2021 年 11 月 13 日

学会名等：第 94 回日本社会学会大会

場所：オンライン開催

発表者：加藤 倫子、大野 光子

発表タイトル：刑務所における「正直になることのできる場」をめぐる相互行為分析——  
「女子依存症回復支援モデル事業」のフィールドワーク (2)

#### 2. 研究論文・著書

著書名：『犯罪・非行からの離脱を考える』

タイトル：『『離脱 (デジスタンス)』の過程で保護観察が果たす役割』

発行機関：ちとせプレス

発行年月：2021 年 12 月

著者氏名 (共著者含)：岡邊 健 (編者)、藤間 公太、岡村 逸郎、仲野 由佳理、加藤  
倫子、相良 翔、都島 梨紗、志田 未来、伊藤 秀樹、平井 秀幸、山口 毅

掲載種別：著書 (書籍)

共著区分：共著

掲載誌名：『札幌学院大学人文学会紀要』第 111 号

タイトル：「社会調査はいかに「失敗」に至るのか？——「トラブル」から「中止」に至る調査の過程を開示する——」

発行機関：札幌学院大学人文学会

発行年月：2022 年 2 月

著者氏名 (共著者含)：加藤 倫子、平井 秀幸

掲載種別：論文

共著区分：共著

#### 3. 外部資金採択実績

採択補助金名：科学研究費

研究種目：若手研究

研究課題番号：19K13951

採択テーマ：「構造的排除への支援・介入が『犯罪や非行からの離脱』に与える影響」

研究期間：2019年4月～2023年3月

資金名称：日本学術振興会

研究代表者名：加藤 倫子